



# *GOVERNOR'S MONTHLY LETTER*

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉 憲 哉

2020. 1

Vol.

7



ROTARY CONNECTS THE WORLD



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ  
ロータリーは世界をつなぐ

表紙の写真説明

雲仙岳を遥かに  
遠く見渡す白木峰  
白銀に輝く丘の上  
吹きぬける北風に  
梢はヒューッと笛をふく

CONTENTS

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 国際ロータリーのテーマ        | 1   |
| Governor's message | 2   |
| 佐賀豪雨被災地支援報告        | 3   |
| 社会奉仕セミナー報告         | 5   |
| ロータリー財団セミナー報告      | 6   |
| 会員数・出席報告           | 7   |
| 新会員・物故者紹介・寄付者紹介    | 8   |
| 第2740地区ロータリー財団委員会  |     |
| グローバル補助金ネパール事業     | 10  |
| 芸術家の視点・編集後記        | 裏表紙 |

## Governor's message



## 新年おめでとうございます

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

令和2年、あけましておめでとうございます。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本ロータリー100周年の記念すべき年です。東京ロータリーが米山梅吉と福島喜三次により1920年設立され、100年目となります。現在日本には会員数89,788人、クラブ数2,261クラブと大きく発展してきました。(2019年9月末日現在) その間、関東大震災では世界中のロータリアンから災害支援を受けました。第2次世界大戦では残念ながら、国際ロータリーを脱退しましたが、戦時中は日本独自のロータリー活動を展開するなど波乱万丈の戦前史でした。戦後、国際ロータリーに復帰後も「ロータリー哲学」は失われず、ロータリーの掲げる「奉仕の理想」が実現されています。さらに、近年多くの新興国にもロータリークラブが新設され、国際ロータリーの「世界に良いことをしよう」の奉仕活動が世界中に広がっています。特に国連UNICEFとの連携によるポリオ撲滅活動はあと一息のところまでできています。

2019-2020年度マローニー年度を振り返ると、年度が始まって、半年数々の出来事がありました。中期計画(5年ごと)が新たに始まり、4月に開催された規定審議会(3年に一度)では「柔軟性」に基づく数々の案件が採択され、多くの日本のロータリアンは変化にどのように対応すべきか躊躇しました。

我々日本人は大変まじめな人種です。規則が決まったら、何が何でもきちんと決まり事を守ろうと考え、厳守すべきと判断します。だから、「え〜、例会は月4回しなくてもよい。メーキャップは年度末でよい。職業分類が無くなった? ロータリーはどこに行ったのか?」と誰もがブーイング。日本ロータリー独立論まで飛び出す始末です。

マローニー会長は就任以来、何度も日本を訪問され、我々日本のロータリアンと膝を交え、これらの問題について意見交換を行いました。マローニー会長は「世界には多様性に富むいろいろな文化、習慣、歴史がある。だから日本人は職業奉仕を、フランス人は環境問題を、インド人は規則を大切と考える。ロータリーが活性化するためには、それぞれの国のロータリアンはその国のロータリー観で行動してほしい。自分たちが育ててきたロータリー観を捨てる必要はない。規定審議会で決まったことは柔軟性を持って解釈、運用してほしい。」と述べておられました。

賢明なるロータリアンの皆様はマローニー会長のこの発言で理解できたと思います。結論は「不易流行」ということです。日本のロータリアンはこれまでのとおり「例会、職業奉仕の考え方」を捨てる必要はないのです。ロータリーのレガシー、哲学を大切にする誇り高きロータリアンであればよいのです。むしろ、その誇りをなくすことが危惧されるのです。小船井PG(釧路RC)は「最近**ロータリー哲学**を教える新人教育がなされていないのが現状である。ロータリーの良さが古参会員は理解しているが、新人が習得することなく、ライオンズとロータリーの区別さえわからない新入会員が多い」と言われておられます。現代は飽くなき利己のみを求める金融資本主義的経済がはびこり混乱しています。現在こそロータリーが掲げる「**利己と利他の調和**」の精神が健全な経済活動には必要と考えられます。ロータリー哲学は

決して古い理論とはいえません。

最近の規定審議会の変化は「会員資格は無職でも親類でも誰でもよい」などと会員を増やすことにのみ注力するのは「ロータリーのライオンズ化」であると言えます。会員増強の裏で「会員の質」を問う非難の声が上がっているのはこの現れです。ロータリアンは専門職を持った地域で選ばれた人の集まりです。ロータリー哲学の教えを紐解く大事な時期にきたとも言えます。

**ロータリーの素晴らしさ**に感激した年でもありました。佐賀豪雨災害の際、第2740地区のガバナー補佐の皆様が現地調査と視察支援をすぐに動いていただきました。そして34地区からなるガバナー会へ災害報告をしましたところ、日本中のロータリアンが4000万円に及ぶ支援金を届けて頂きました。現地では自らも被災しながらも、それぞれの職種のロータリアンが災害支援に動いていました。支援金を激甚災害指定自治体に贈呈しましたが、残念ながら取材に来たマスコミがロータリーとはいかなるものかを良く知りませんでした。公共イメージの大切さを実感した次第です。

昨年度末には**驚く事件**がありました。アフガニスタンではポリオ投与を行っていたロータリアンが凶弾に倒れた事件があった、と11月のロータリー研究会で聞いたばかりでした。同じアフガニスタンで中村哲医師が凶弾に倒れたとの報道です。世界は驚愕しました。残念無念の一言です。「平和には武器はいらない。薬より水だ」と言って、灌漑に人生をささげた方です。ロータリアンは中村医師の志「**照一隅**」を忘れてはいけないと思います。昨年のインターアクト地区大会では黒崎医師の感動する話の中でその志の困難さを聞いたばかりです。ロータリーは平和を願う団体です。ポリオ根絶にあと一息なのに実現不可能なのはこのような世界で最悪の政治的要因があるからです。戦闘地域での平和活動は如何に困難かがわかります。

いよいよ7月からは**花島エレクト**による**新しい年度**が始まります。1月にはサンジェゴでの国際協議会、ついで地区研修セミナー、PETS、地区委員会キックオフミーティング、地区研修協議会と続きます。その間に、各クラブの周年行事、IM、委員会研修、アンケート調査などがあります。アンケート調査は花島ガバナーの公式訪問には必要ですから必ず御協力くださいますようお願いいたします。

6月にはロータリー・ハワイ国際大会が開催されます。第2740地区ナイトは6月9日です。皆様多数ご参加くださいますようお願いいたします。

## 佐賀豪雨被災地訪問でロータリーの在り方を考える

ガバナー 千葉 憲 哉

12月3日佐賀豪雨災害への寄付金を届けに、大石地区幹事と佐賀を訪問した。武雄市役所玄関には平岡AG、白石AG、武雄RC会長、多久RC会長、大町RC会長など被災地区のロータリアンが出迎えられた。武雄市役所の来賓室へ案内されると、すでに報道各社が待ち構えていた。

来賓室へ小松武雄市長、横尾多久市長、水川大町町長が入ってこられ、われわれロータリアンが挨拶。まず、ガバナーの私から災害のお見舞いと寄付金贈呈に至る経緯を説明。その後、3名の方それぞれに1000万円の日録贈呈。両市長・町長が感謝の意を述べられた。

その中で、全国34地区89,500人のロータリアンから届けられた寄付金をどのように使いたいのか？を3名の方々が話された。武雄市長は、「災害弱者に重点的に配分したい」。多久市長は、「災害で破壊された地区



への支援」に、同じく大町町長は、「ボタ山崩壊による地域復興、油汚染田園の復旧などに使いたい」と話された。要するに、「地元で有効に利用したい」という事である。

その災害用のお金の集め方であるが、平岡ガバナー補佐の助言で、寄付金を「義援金」ではなく「支援金」として使わせてほしいとの依頼があった。その理由は日赤などが集める「義援金」ならば寄付先を指定できず、どこに使われるか不明である。前例として、北部九州豪雨災害では「義援金」として集められたため、被災地朝倉には十分には届かなかったということであった。

そこで、全国ガバナー会で、今回、「義援金」ではなく、「支援金」として使用させていただくとの了解が得られた。地元自治体が自由に使えるお金として贈呈できた。両市長・町長の意図は実現可能である。

また、両市長・町長から今回の地元ロータリアンの活動経緯を聞かれましたので、「災害3日後、平岡ガバナー補佐がガバナーを連れて被災地を視察、更に平岡・白石ガバナー補佐を中心に佐賀県域内各クラブ会長幹事が被災状況を調べ、ガバナー事務所に報告を受けました。全国ガバナー会へその状況を報告し、それが多額の支援金集めにつながった。」という経緯に三者一様に、ロータリーの支援の速さ、連携と行動力に驚いておられた。

世間では「ロータリーとは何か？ 何をしているのか？」とよく問われる。

ロータリーとは職業人が「奉仕の理想を実現する団体」である。最近はお金と併せてNPOやボランティアの協力など人的支援の必要性が求められる。災害時におけるロータリーの奉仕活動とは、まずは、職業奉仕、社会奉仕である。ロータリアンが自らの専門職業を災害復旧に生かすことにある。

今回も地元のロータリアンは自らの職業を通して災害復興に行動している。建設業の方は建設機械や車両を復旧活動に使い、飲食業の方はボランティアの方に配食サービスを提供したとお聞きした。行政は、進んで行政施設のスペースを廃材置き場に提供している。しかもロータリアンは、元議員がいたり、商工会議所役員がいたり、普段から自らの職業を通じて地元行政としっかりつながっており、災害地では刻々と変化する中、何が今、求められているか？を把握し、ガバナー事務所に報告され、全国のロータリーに発信できた。職業人の集まるロータリー組織ならではの活動である。

報道ではその後に新たに起こった千葉、長野、東北など他地区の災害が次々と報道され、佐賀豪雨災害のその後の実態も災害地以外の人からは忘れられつつある。

でも復旧は今からである。短期的活動では地域は災害から立ち上がれない。そこで、最近、ロータリー財団の6つの活動（疾病、平和推進、水と衛生、母子健康、地域経済）に加えて、新たに「災害支援」のための基金が設立された。即時、短期、長期にわたった災害支援が可能となった。人的奉仕を今後、現地で実現したいと考えている。改めて、温かい気持ちを届けて頂いた一人一人の全国のロータリアンに深く感謝申し上げます。ロータリアンとして誇りを感じました。

「ロータリアンの視点の大切さを忘れてはいけない」と考えさせられる災害地訪問であった。



## 社会奉仕セミナー報告

地区社会奉仕委員会 委員長 帯屋 徹 (大村RC)

日 時 2019年10月27日(日) 13:00~18:00

場 所 東彼杵総合会館 大会議室

セミナー当日は、千葉ガバナーには、他地区の年次大会の出席のため、ガバナー代理で花島光喜ガバナーエレクト、並びに駒井英基パストガバナー研修委員長、塚崎寛ガバナーノミニ、大石地区幹事やガバナー補佐の皆様にもご参加いただきました。又、児童虐待の防止をテーマに講演を頂きました慈愛園理事長・潮谷義子先生にも、心から御礼を申し上げます。

セミナーのプログラムは、前半では各クラブの活動実績アンケートを佐藤誠委員（雲仙）が集計、発表を行いました。近年社会奉仕の傾向として環境保全事業から、人間尊重事業への取り組みへの移行が顕著であること、汗を流す事業からお金を出す事業への移行、社会奉仕を通しての、RC公共イメージアップの取り組みがまだ足りないのでは、などの報告がありました。

続いて社会奉仕事業実績の発表を、本年度の3つの指針に沿った活動をされた、4クラブの代表の方に発表をお願いしました。①「ロータリーデーの推進」としてグラウンドゴルフ大会に400名を集め開催された大村東クラブ②「地区補助金事業の活用」として松浦クラブの日本を代表する地場水産を学ぶ「特別支援学級体験学習」③児童虐待関係の事業として、長崎みなみクラブの「子供食堂長崎」への支援活動、長崎出島クラブの「おしごと探検隊」等の発表を頂きました。

RCの公共イメージアップを大きな目的として3つの活動方針を推し進めていくための手本となる活動実績であると思います。

後半では、今緊急の社会問題である、児童虐待について、前熊本県知事で現慈愛園理事長、日本福祉大学理事長でもあられ、児童虐待防止の活動の旗手として活躍を続けていらっしゃる潮谷義子先生を迎え、「児童虐待一命の育ちは支えられているのだろうか？」というテーマでお話をいただき、虐待を巡る現況やその背景、里親制度、予防対策、子供の発育への影響、共生社会を目指す生き方、などの興味深い講演を頂きました。

その講演をよりよく理解するための、ウォーミングアップとして、児童虐待防止「今我々に何ができるのか」を議題に10グループに分かれていただきファシリテート方式により、ディスカッションを行っていただきました。ファシリテーションとは近年ロータリーの研修の中で取り入れられている方式であり、当地区では初めての取り組みとなります。この試みが当地区のロータリー研修の新たな一歩になることを祈り、ファシリテーターとして協力頂きました他委員会の皆様や、セミナーの準備等でお世話をいただいた宮田事務局にも心から御礼を申し上げ、報告に代えさせていただきます。





## ロータリー財団セミナー報告

地区ロータリー財団委員会 委員長 岡村 康 司 (長崎南RC)

去る11月24日長崎ではローマ法王訪問で厳重警備の中、東彼杵では90名が出席しロータリー財団セミナーが賑やかに開催されました。

このセミナーは11月の財団セミナー、翌年2月に行われる補助金セミナーと合わせて年2回行っておりますが、11月は財団の概要を理解していただくことを目的として合わせて各委員会の活動報告もなされます。2月は財団が持つ各種の補助金についてその運用と手続きについての説明がなされ、この2段階の研修によって財団の事業が各クラブへ普及浸透することを主な目的としています。

今年は上記の目的に加えとりわけグローバル補助金の活用を促すべく、記念の講演会を企画しました。講師は長年タイの少数民族「アカ族」の子供たちの識字率向上のため日本語学校を設立して支援活動されているロータリアン、原田義之氏に現地の状況を詳しく語っていただきました。(詳しい内容については写真の本をぜひ買っていただければ幸いです)



千葉ガバナー点鐘、挨拶、財団委員長の私岡村より本年度セミナーの開催趣旨と活動報告を行い、継続事業の関係で前年度委員長の西川さんから前年までの財団の支援活動の報告をいただきました。その後2016～2017年度グローバル補助金留学生の片岡一生君より帰国報告があり、休憩を挟んで原田義之氏の講演となりました。

現役を退いてから64歳でタイに赴き、現地の子供たちがおかれている悲惨な状況を少しでも改善すべく、残りの人生のすべてをかけておられる原田氏の話はやった者でなければ絶対に語れない、聴く者はそんな鬼気迫るものを感じていたと思います。用意した本はほとんど完売し、印税を引いた残金はタイの子供たちのための支援となりました。



講演が終わって後半のプログラム、財団学友委員会の森本さん（小委員長）とポリオプラス委員会の上田さん（小委員長）からそれぞれ今年度の報告があり、最後は花島ガバナーエレクトの講評でセミナーを締めくくりました。

原田義之先生にはこのセミナーのために遠くタイ国よりお越しいただいて貴重なお話を拝聴しました。出席された地区内各クラブの会長幹事さん、他財団関係の委員の皆さん、ありがとうございました。





## 2019年10月会員数・出席報告

| グループ    | クラブ名   | 例会数 | 平均出席率 | 会員数   |      |       |      | 当該月 |    |    | 累計 |
|---------|--------|-----|-------|-------|------|-------|------|-----|----|----|----|
|         |        |     |       | 7月1日  | うち女性 | 当月末   | うち女性 | 新入  | 退会 | 増減 |    |
| 第1グループ  | 佐賀     | 4   | 82.6  | 74    | 5    | 76    | 5    | 3   | 0  | 3  | 2  |
|         | 小城     | 4   | 61.8  | 30    | 2    | 30    | 3    | 0   | 1  | -1 | 0  |
|         | 牛津     | 4   | 74.8  | 30    | 0    | 34    | 1    | 0   | 0  | 0  | 4  |
|         | 多久     | 4   | 84.5  | 38    | 5    | 38    | 4    | 1   | 0  | 1  | 0  |
|         | 佐賀大和   | 4   | 73.1  | 26    | 6    | 26    | 6    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 小計     |     | 75.3  | 198   | 18   | 204   | 19   | 4   | 1  | 3  | 6  |
| 第2グループ  | 佐賀西    | 3   | 78.1  | 38    | 2    | 43    | 3    | 1   | 0  | 1  | 5  |
|         | 佐賀北    | 4   | 77.7  | 45    | 1    | 45    | 2    | 0   | 1  | -1 | 0  |
|         | 佐賀南    | 4   | 71.2  | 38    | 4    | 41    | 4    | 0   | 0  | 0  | 3  |
|         | 神埼     | 3   | 84.2  | 37    | 4    | 37    | 4    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 佐賀空港   | 3   | 70.8  | 18    | 1    | 18    | 1    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 小計     |     | 76.4  | 176   | 12   | 184   | 14   | 1   | 1  | 0  | 8  |
| 第3グループ  | 有田     | 4   | 70.7  | 28    | 0    | 31    | 1    | 1   | 0  | 1  | 3  |
|         | 武雄     | 3   | 91.1  | 56    | 5    | 56    | 5    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 鹿島     | 4   | 91.4  | 34    | 4    | 33    | 4    | 0   | 0  | 0  | -1 |
|         | 嬉野     | 4   | 89.4  | 26    | 2    | 26    | 2    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 大町     | 5   | 62.7  | 11    | 0    | 15    | 0    | 0   | 0  | 0  | 4  |
|         | 太良     | 4   | 92.5  | 10    | 0    | 10    | 0    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 小計     |     | 83.0  | 165   | 11   | 171   | 12   | 1   | 0  | 1  | 6  |
| 第4グループ  | 唐津     | 3   | 92.3  | 61    | 0    | 61    | 0    | 0   | 1  | -1 | 0  |
|         | 伊万里    | 3   | 86.6  | 29    | 0    | 29    | 0    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 唐津東    | 4   | 87.8  | 50    | 0    | 51    | 0    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 唐津西    | 4   | 89.0  | 34    | 0    | 35    | 0    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 伊万里西   | 4   | 97.3  | 41    | 0    | 41    | 0    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 唐津中央   | 4   | 87.6  | 37    | 3    | 38    | 4    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 小計     |     | 90.1  | 252   | 3    | 255   | 4    | 0   | 1  | -1 | 3  |
| 第5グループ  | 佐世保    | 5   | 100.0 | 78    | 0    | 79    | 0    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 平戸     | 4   | 79.3  | 29    | 2    | 28    | 2    | 1   | 2  | -1 | -1 |
|         | 北松浦    | 4   | 86.3  | 25    | 0    | 25    | 0    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 佐世保西   | 4   | 85.9  | 24    | 4    | 24    | 3    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 松浦     | 5   | 84.3  | 26    | 1    | 28    | 1    | 0   | 0  | 0  | 2  |
|         | 小計     |     | 87.2  | 182   | 7    | 184   | 6    | 1   | 2  | -1 | 2  |
| 第6グループ  | 佐世保南   | 4   | 100.0 | 62    | 0    | 64    | 0    | 2   | 0  | 2  | 2  |
|         | 佐世保東   | 4   | 78.1  | 23    | 0    | 24    | 0    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 佐世保北   | 3   | 100.0 | 40    | 2    | 40    | 2    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 佐世保中央  | 4   | 89.7  | 46    | 1    | 47    | 1    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 佐世保東南  | 5   | 68.8  | 39    | 0    | 40    | 0    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | HTB佐世保 | 4   | 76.4  | 23    | 2    | 23    | 2    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 小計     |     | 85.5  | 233   | 5    | 238   | 5    | 2   | 0  | 2  | 5  |
| 第7グループ  | 大村     | 4   | 88.0  | 48    | 4    | 49    | 4    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 島原     | 4   | 81.6  | 30    | 2    | 30    | 2    | 0   | 1  | -1 | 0  |
|         | 雲仙     | 3   | 89.6  | 14    | 0    | 14    | 0    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 大村北    | 4   | 92.1  | 24    | 1    | 24    | 1    | 0   | 1  | -1 | 0  |
|         | 島原南    | 4   | 68.0  | 25    | 0    | 25    | 1    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 大村東    | 3   | 86.9  | 37    | 3    | 38    | 4    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 小計     |     | 84.4  | 178   | 10   | 180   | 12   | 0   | 2  | -2 | 2  |
| 第8グループ  | 諫早     | 4   | 81.1  | 72    | 0    | 75    | 0    | 0   | 0  | 0  | 3  |
|         | 諫早北    | 4   | 79.1  | 74    | 4    | 74    | 4    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 諫早西    | 4   | 90.7  | 45    | 0    | 45    | 0    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 諫早多良見  | 4   | 88.6  | 32    | 0    | 34    | 0    | 0   | 0  | 0  | 2  |
|         | 諫早南    | 2   | 73.3  | 14    | 8    | 15    | 9    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 小計     |     | 82.6  | 237   | 12   | 243   | 13   | 0   | 0  | 0  | 6  |
| 第9グループ  | 長崎     | 4   | 83.4  | 74    | 0    | 74    | 0    | 2   | 1  | 1  | 0  |
|         | 福江     | 3   | 85.1  | 33    | 0    | 35    | 0    | 0   | 0  | 0  | 2  |
|         | 長崎北東   | 4   | 74.4  | 41    | 3    | 41    | 2    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 福江中央   | 4   | 81.4  | 21    | 0    | 21    | 0    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 長崎西    | 4   | 79.0  | 43    | 1    | 43    | 1    | 0   | 1  | -1 | 0  |
|         | 長崎琴海   | 4   | 57.5  | 11    | 0    | 11    | 0    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 小計     |     | 76.8  | 223   | 4    | 225   | 3    | 2   | 2  | 0  | 2  |
| 第10グループ | 長崎北    | 2   | 81.6  | 80    | 0    | 79    | 0    | 0   | 0  | 0  | -1 |
|         | 長崎南    | 4   | 81.3  | 72    | 0    | 73    | 0    | 0   | 0  | 0  | 1  |
|         | 長崎東    | 3   | 69.5  | 40    | 2    | 43    | 2    | 0   | 0  | 0  | 3  |
|         | 長崎みなと  | 3   | 81.8  | 30    | 1    | 30    | 1    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 長崎中央   | 2   | 95.1  | 55    | 0    | 55    | 0    | 0   | 0  | 0  | 0  |
|         | 長崎出島   | 3   | 81.5  | 71    | 12   | 72    | 12   | 1   | 0  | 1  | 1  |
|         | 小計     |     | 81.8  | 348   | 15   | 352   | 15   | 1   | 0  | 1  | 4  |
| 56クラブ合計 |        |     | 82.3  | 2,192 | 97   | 2,236 | 103  | 12  | 9  | 3  | 44 |

\*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年10月末までの増減です。





## 新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀RC  
真島 和博 君  
長崎放送(株) (NBCラジオ佐賀)  
ラジオ局長兼佐賀局長



佐賀RC  
後藤 昌弘 君  
全日本空輸(株)佐賀支店  
支店長



佐賀RC  
竹井 晋治 君  
西日本新聞佐賀総局  
総局長



多久RC  
田中 秀和 君  
多久観光バス(株)



佐賀西RC  
松村 淳一 君  
佐賀ガス(株)  
代表取締役社長



佐賀西RC  
郷田 正 君  
九州電力(株)佐賀営業所  
所長



佐賀西RC  
一ノ瀬裕子 君  
フリーアナウンサー



佐賀西RC  
日野 和仁 君  
日野法律事務所  
弁護士



佐賀空港RC  
江頭 活広 君  
磯頭  
代表



有田RC  
西山 研吾 君  
共立エレクトクス(株)  
代表取締役



平戸RC  
荒木 孝仁 君  
(株)清和  
専務取締役



佐世保南RC  
宗 博美 君  
佐世保港湾運輸(株)  
代表取締役



佐世保南RC  
卜部 篤志 君  
学法) 聖和女子学院  
理事長



長崎RC  
森田 誠 君  
長崎自動車(株)  
取締役経営企画本部長



長崎RC  
下田 尚人 君  
日本銀行長崎支店  
支店長



長崎出島RC  
嘉村 大輔 君  
松尾建設(株)長崎支店  
支店長



## 物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



小城 R C  
倉永 圓宰 君  
(享年82歳)



佐賀北 R C  
富崎 一己 君  
(享年83歳)



唐津 R C  
野口 晶教 君  
(享年68歳)



平戸 R C  
塩澤 恒雄 君  
(享年80歳)

## 寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

| ロータリー財団                |         |       |
|------------------------|---------|-------|
| 種 類                    | 氏 名     | クラブ名  |
| マルチプル・<br>ポール・ハリス・フェロー | 近 藤 竜 一 | 佐世保北  |
|                        | 三 谷 秀 和 | 佐世保北  |
|                        | 白 倉 一 男 | 諫 早 北 |
|                        | 高 田 祐 治 | 長崎中央  |
|                        | 今 村 茂 雄 | 長崎出島  |
|                        | 楊 爾 嗣   | 長崎出島  |
|                        | 村 木 昭一郎 | 長崎出島  |
|                        | 殿 村 周 三 | 長崎出島  |
|                        | 鉄 川 進   | 長崎出島  |
|                        | 北 島 利 彦 | 長崎出島  |
|                        | 澤 山 俊 雄 | 長崎出島  |
|                        | 堤 祐 敬   | 長崎出島  |
|                        | 喜々津 京 子 | 長崎出島  |
|                        | 山 田 佑 子 | 長崎出島  |
|                        | 藤 岡 秀 則 | 長崎出島  |
|                        | 有 馬 裕 幸 | 長崎出島  |
|                        | 谷 川 喜 一 | 長崎出島  |
|                        | 山 形 浩 介 | 長崎出島  |
|                        | 福 島 誠   | 長崎出島  |
|                        | 草 野 幸 子 | 長崎出島  |
| ポール・ハリス・フェロー           | 山 口 孝 司 | 長崎出島  |
| ベネファクター                | 今 村 茂 雄 | 長崎出島  |

| 米山記念奨学会        |           |       |
|----------------|-----------|-------|
| 種 類            | 氏 名       | クラブ名  |
| 米山功労者メジャードナー   | 富 田 耕 司   | 佐世保北  |
| 米山功労者<br>マルチプル | 花 島 光 喜   | 鹿 島   |
|                | 西 沢 雅 幸   | 佐世保南  |
|                | 中 島 閏 二   | 佐世保北  |
|                | 辻 本 善 樹   | 諫 早 西 |
|                | 山 崎 祥 弘   | 諫 早 西 |
|                | 朝 永 万左男   | 長 崎   |
|                | 岩 永 信 昭   | 長崎北東  |
|                | 崎 永 剛     | 長 崎 北 |
|                | 前 谷 逸 生   | 唐 津 東 |
| 米山功労者          | 牧 野 博 一   | 佐世保北  |
|                | 松 永 祐 司   | 佐世保北  |
|                | 田 島 慎     | 佐世保北  |
|                | 松 田 亜由美   | 佐世保北  |
|                | 船 津 学     | 佐世保北  |
|                | 八 木 順 平   | 佐世保北  |
|                | 藤 岡 秀 則   | 長崎出島  |
|                | 北 島 利 彦   | 長崎出島  |
|                | 山 口 孝 司   | 長崎出島  |
| 米山功労法人         | (有) フ カ ヤ | 唐津中央  |

## 第2740地区ロータリー財団委員会 グローバル補助金ネパール事業



Dhadingの小学校の生徒たち



手洗いの訓練光景



プロジェクト参加者



先生方に対する講義の様子



地震で倒壊したトイレの改修工事



野原で行った400人規模のワークショップ

### 水と衛生に関する改善プロジェクト（2019年9／21～9／27）

プロジェクトには、西川義文（大村RC）、堤 貞喜、円田 稔、隅 康二（佐賀西RC）、古川尋美、吉岡義治（佐賀南RC）、西村明美（神埼RC）、片岡一生（D2740R財団学友）の8名が会計や広報などそれぞれ役割を分担してチームを組みました。設備工事は2020年3月の完成予定ですが、工事完成の前に現地にて水と衛生に関する教育プログラムを行うために現地訪問を行いました。



## 芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

### まえがき

生涯、諫早を離れることのなかった

草野源一郎氏の短歌の中に、

諫早の自然は多くの題材を提供している。

水鳥たちの羽音や啼き声という

聴覚が捕えるかれらへの

思いの深さがそうである。

小さき命へも心を寄せて

草野源一郎（歌人）

草萌えて帰りそびれし真鴨三羽水濁りたる春の川ゆく

冬川に遊ぶ真鴨の数増してわが朝夕の往反たのし

遥かなる水上にいて啼き交わす番ひの鴨の声いたいたし

川筋に啼くよしきりの透る声わが怠慢のこころ揺さぶる

痛切に啼きわたりゆく何鳥ぞ瀬音こもれる薄明の中

歌集『本明川』より

葦辺是水鳥のねぐら（本明川）

### 編集後記

令和2年の初春を迎えた。昨年は自然災害が相次ぎ、心ならずも暗いニュースに明け暮れた。今年は東京オリンピックが開催され、歴史的な年となるだろう。ロータリー年度も下半期に突入、各クラブとも新たな奉仕に向けて進もう。（緒方）